

遺骨収集 沖縄戦の悲惨さを痛感

会社員

(福岡県 63)

約40年前、友人の誘いで初めて沖縄を訪問した。旅行気分だったが、実は遺骨収集のボランティアであった。3泊4日の日程で、背丈ほども

ある草木をかき分けて目的地にたどり着いた。「不発弾や手榴弾に十分気をつけるよう」との指導を受け、静かに丁寧に掘り起こし、遺骨を見つけ出す。2日かけて収集した遺骨を慰霊した後、米軍基地での慰労会に招待されるといふ流れだった。

ボランティアは3年連続で参加した。当時、少しばかり沖縄戦の知識

はあったが、多くの一般人が巻き込まれた実に悲惨な戦争であったことを実感した。その後も個人的に沖縄を訪ね、ひめゆりの塔や摩文仁の丘、平和祈念資料館を巡った。改めて沖縄戦のすさまじさを痛感した。

戦争体験のない私だが、子どもたちに、終戦の日、原爆の日にはともに手を合わせるように伝え、テレビなどの戦争特集をできるだけ視聴させてきた。成人となった子どもたちがきくと何かを感じ、これからの人生を生きてくれること。そして、自分たちの子どもたちにも戦争のことを伝えてくれることを信じている。